田中（たなか） 茉莉子（まりこ） さん

高校留学（トビタテ！留学JAPAN）

2017年7月
ニュージーランド
【トビタテ！留学JAPAN
「日本代表プログラム」】
2020年3月
金光学園高等学校卒業
2020年4月
東京大学文科三類入学
2022年4月
東京大学教育学部進学（予定）

帰国後

トビタテ！留学JAPAN留学体験発表会などで留学に関する発表を行った。また、2018年日本ユネスコ協会連盟主催の高校生カンボジアスタディツアーに参加。2020年3月金光学園高等学校を卒業し、同年4月より東京大学に在籍している。

桃太郎の絵本を英語で読み聞かせ

NZでモンテッソーリ教育を学ぶ！

本場でモンテッソーリ教育を学びたい！

私が卒園した幼稚園がモンテッソーリ教育を取り入れていたことを中学校のキャリア教育を通して認識しました。この教育に関する本を読み、自分が体験したことと本の中で取り上げられている、モンテッソーリ教育を受けて育った子どもたちの物事の考え方に共感を覚えるところがあり、とても感動しました。そして、モンテッソーリ教育の幼稚園をつくりたいと思うようになりました。その夢に近づくために、質の高い教育で有名なニュージーランドで実際にどんな教育が行われているのか知りたいと思い、留学を決めました。

ご縁で見つけた留学先

私はニュージーランドのウエリントンにある幼稚園で実習をし、幼稚園の中で園児たちや、彼らを見守る先生方の様子を見ました。また、私は岡山県出身なので英語で「桃太郎」の本の読み聞かせ、自作の紙芝居で日本についてのプレゼン、書道、折り紙などを通して日本の文化を紹介しました。モンテッソーリ教育では「本物」に触れることが大切とされているので、ミニ畳を持参して触ってもらったり、園児の前で風呂敷の包み方を実演して見せたりしました。滞在中は、園児の２家族がホストファミリーになってくれました。モンテッソーリ教育では、家庭での時間をとても大切にしているので、ニュージーランドの家庭で子どもたちがどう過ごしているのか、両親がどう接しているのかを間近に見ることができ、とても参考になりました。

マオリ語の歌を歌う子どもたち

大きな一歩を未来につなぐ

私はこの留学後、高校２年生の時に日本ユネスコ協会連盟主催の高校生カンボジアスタディツアーや、日本乳幼児学会への参加を通して、発展途上国や日本の教育の現状を学びました。今は、様々な環境下にいる子どもたちが質の高い教育を受けられるような、新しい教育メソッドを創ることが私の夢で、大学では教育学を学びます。

留学後もつながるご縁

留学を通してモンテッソーリ教育を学び、子どもたちの学びを支えたいという夢を軸に、さらに視野を広げるきっかけになりました。また、ホストファミリーとはその後も連絡を取り合っており、一昨年の５月には来日し、私の住む岡山県を訪れて我が家にホームステイしてくれました。

留学への思いを深めよう

留学前には「なぜ今その国に留学したいのか」「何を学び、それは将来どう役に立つのか」と考えると、留学中に絶対やりたいことが分かります。留学後に学びを振り返ると、留学前からの変化や、夢や目標を叶えるための道のりが具体的に見えてきます。留学を自分のものにできるように頑張って、現地では楽しんできてください！

書道を体験してもらった

私の英語勉強法

「毎日継続！楽しく学ぶ！」

小学生の頃から、毎朝ラジオの基礎英語を聞いています。高校生になってからは、外国の小説の原作を読んだり、海外映画やTED（Technology Entertainment Design）の動画を見たり、学校を訪れた留学生と英語で交流したりしました。語学の上達だけでなく、広い視野を持つことに繋がりました。「毎日継続」「楽しく学ぶ」この２つが語学勉強法のコツだと思います。

齊藤（さいとう）　祐史（ゆうし）さん

語学留学（クウェート政府奨学金）

2013年3月
静岡県立藤枝東高校卒業
2013年4月
京都外国語大学国際教養学科入学
2015年9月～2016年8月
京都外国語大学休学し、クウェート大学ランゲージセンターへ留学【クウェート政府奨学金】
2018年3月
京都外国語大学国際教養学科卒業

帰国後

2018年4月　オーガニック食品通信販売会社に就職、その傍ら、アラビア語学習サイトやクウェート留学情報サイトを運営、現在に至る。

クウェートのグランドモスクにて

クウェートの奨学金で学ぶ中東とアラビア語

アラビア語と中東を深く学ぶための留学

アラビア語や中東に関心を持ったのは高校生の時に参加したグローバルセミナーがきっかけです。そこでパレスチナ人の方の話を聞き、中東について全く知らないことを痛感しました。また、アラビア語の文法構造にも興味を持ち、大学では第二言語として勉強しました。しかしそれでもアラビア語学習に限界を感じていたためアラビア語をより深く勉強したいと思うようになりました。また、実際に中東に行き、現地で中東について深く知りたいとも思ったため留学しようと決めました。

政府の奨学金で学べるクウェートへ

長期間アラビア語留学するには生活費や授業料など多額の費用が必要ですが、金銭的にその余裕はありませんでした。そこで大学のアラビア語の先生に相談し、クウェート政府奨学金留学を教えて頂きました。往復渡航費、寮、食事が支給され、授業料も無料で月約100KD（当時約4万円）も支給とのことで、金銭面を心配せずアラビア語留学ができます。中東、特に湾岸諸国の文化も知れるため、私にとって理想の留学でした。応募にはパスポート有効期間2年以上必須で、私は1年以上2年未満で更新が大変でしたが無事選考に応募できました。

各国の留学生と学ぶアラビア語

アラビア語留学には各国から留学生が来ており、クラスには20か国程度の留学生がいました。クラスはレベル別に1 ～ 4に分かれており、留学開始後すぐにテストと授業での参加度で振り分けられました。私はレベル2のクラスになりました。授業は先生が学生に質問を投げたり、発表を行わせたりする学生参加型形式でした。講義中には学生が持ち寄ったお菓子を食べながら授業が行われるなど、クラス内の仲は非常に良かったです。ただ各国留学生は非常に優秀な人が多く、アラビア語クラスのレベルも非常に高いので授業についていくのに必死で、毎日授業終わりはずっと勉強していました。クウェートでは珍しい男女混合クラスで、授業終わりに街に遊びに行くこともありました。女子寮は門限が21時半のため、外出時の時間調整は難しいようでした。

クウェート留学生の集合写真

中東やムスリムに貢献するために生きる

留学中、現地の人に大変お世話になったため、中東やムスリムに貢献できるような仕事に就きたいと思い就職活動をしました。現在はムスリムのような食事制限のある人でも食べれる食品を提供する、オーガニック食品の会社で働いています。

中東に興味のある人に役立つ情報を

クウェートでは現地の方にお世話になった恩返しをしていこうと思い、個人的に活動をしています。クウェート留学情報サイト「よしくんマディーナ」、アラビア語学習サイト「よしくんマドラサ」、中東現地就職できる求人サイト「アラブワーカードットコム」を現在運営し、中東に興味のある人に役立てるように活動しています。

時間の流れ方が違うので、催促を必ずする

クウェートはのんびりとした国で「インシャッラー」（神の思し召すままに）で予定が流れたり、待ち合わせ時間に相手が遅れたりします。手続きが進まないことも多々あるので、必要な時は催促をして物事を進めていくことが大事です。

クウェートのアベニューズモール

私のアラビア語勉強法　「アラビア語文法は書いて覚える」

アラビア語はまず各単語の文字を認識すること、そしてそれを書くことが非常に難しいので、一通り文字を確認したら文法書を開いて、とにかく書いて覚えていきましょう。文法が分かり作文できるくらいを目指すと留学した時にスムーズに学習できます。作文さえできるようになっておけば、現地でスピーキング力は自然と身につきます。まずはアラビア語の基礎作りが大事です。

おお うら　あん な
大浦　晏奈 さん

大学学部留学（JASSO海外留学支援制度（学部学位取得型）／大学からの奨学金）

2019年3月
東京学芸大学附属国際中等教育学校
2019年9月
ニューヨーク大学アブダビ校
アラブ首長国連邦　（経済学）

帰国後
卒業後は日本で就職予定。

学校で砂漠に連れってくれます

アブダビで アメリカ大学留学

夏の留学がきっかけで

高校２年のときにアメリカの高校生と交流をする「外交官プログラム」に参加をしてから、アメリカの大学を目指すようになりました。実際にアメリカの大学に短期滞在をし、アメリカ人の学生と話していると、可能性や機会が沢山あり、インターナショナルな環境が整っているアメリカの大学が自分に合っていると感じました。また、その時は進路が確実に決まっていなかったのですが、専攻をフレキシブルに変更し、探すことができるアメリカの大学に惹かれました。

自分に合った大学探し

大学リサーチはインターネットを活用しながら行いました。SNSなどで実際にその大学に通っている日本人などに話しかけ、大学生活などについて聞きました。実際に話を聞き、自分がその大学に通っている姿などをイメージして受験校を絞っていきました。また、成績やテストスコアなどによって合格率が高い大学やハードルが低い大学もあるため、ドリームスクール、ターゲットスクール、セイフティスクールのカテゴリーに合わせて受験大学を選びました。

大変でも充実した学生生活

大学一年目は実際に対面授業を受講しました。ディスカッションベースの授業が多かったため、他の学生の意見が非常に刺激的でした。アメリカの大学は日本の大学と違い、課題が大量に出されます。実際に、毎週提出しなければならないレポートや百ページにも及ぶ読み物を終わらせなければなりませんでした。ただ、課題をきちんとこなし授業に参加していると、授業内容が理解でき、成績も維持することができるため、ある意味効率的な勉強方法だと感じました。勉強面だけでなく、学生生活も充実したもので、友達と一緒にキャンパス外へ出て食事をしたり、イベントに参加をしたりしました。また、キャンパス内のイベントなどもたくさんあったので色々な人に出会い、友達は作りやすい環境だったと思います。

スケートクラブに所属しています

フレキシブルな専攻

大学入学当初は進路をあまり真剣に考えていなかったため、大学一年目はよくキャリアセンターなどに相談をしに行きました。そこでは、何がしたいか迷いがあるならば経済学を専攻することが無難だと言われました。そこで、経済学の授業を選択したところ、興味を持ち始めたため、ひとまず経済学を専攻することにしました。

価値観が変わる授業

アメリカの大学に留学していてよかったと思うのは、幅広い授業がたくさん取れることです。私の大学では「一月学期」と言い、一学期が一か月の中で行われるプログラムがありました。そこで、心理学に興味があった私は発達心理学のコースを選択しました。そのコースによって私の考え方が大きく変わりました。

ドバイの旧市街

将来に役立つスキルが身に付く

海外大学へ留学を希望しているのであれば、挑戦することをお勧めします。勉強面は確かにハードですが、それを超える達成感があるからです。また、海外大学受験を通しても自分をより知ることができたり、自分をアピールする力がつくとも思います。

私の英語勉強法　「単語力を身につける」

私は幼い頃にインターナショナルスクールへ通ったこともあり、英語力は基本的に問題なかったです。ただ、SATで要求される英語力は非常に高いものなので、教材や予備校を活用して勉強することをお勧めします。また、日常的に単語力をアップすることも大事です。大学では難関な単語などがたくさん登場するので、単語力は非常に重要になってきます。